

環境ビジネス エクスポでの記者発表

加圧注入防腐処理材に安全な代替法

ウッドロングエコの製造会社は、環境ビジネス エクスポで無害な木材防護保持剤とその使用法の簡単さを紹介している。

ウッドロングエコ木材防護保持剤は他にも魅力的な特徴がある。それは、一度塗れば、その後、何度も塗る必要が無く、又効果が持続するということだ。

ウッドロングエコの製法は60年以上にわたり、ある木工芸家の家族の秘伝として使われてきていた。その家族が作った家、デッキ、家具、栈橋は、現在まで完璧な状態でその姿を保持している。

時はまさに、環境製品へ

消費者はついに清潔で環境を汚染しない、環境保護製品を見つけ出したということだ。「人々は現状に疑問を持たず持つほど、代替の環境にやさしい方法をもっと知ることができる」。最も重要なことは、この防護剤は誰でも簡単に扱え、人間や動植物、土壌中の微生物に至るまで全く無害であることだ。つまり、通常の加圧注入防腐処理された材木のように有害な殺虫剤や残留ヒ素の心配が無いので、ウッドロングエコで処理された木材は菜園や子供の遊具に使用できるのである。第三者機関である研究所のテストでは、ウッドロングエコで処理された杭の周囲の土壌に有害な残留物は検出されなかったとの試験データが発表されている。ウッドロングエコは粉末状なので、ただ水を加えるだけで、はけ塗り、スプレー、浸漬と様々な方法で使用できる。

消費者からの強い支持

これまでウッドロングエコを試したことがある人は、その効能は誇張ではなかったと確信している。人々は初めてウッドロングエコのことを耳にした時は、話がうますぎると訝しく思ったが、実際に使ってみると、なんと良い物であるかと分かり、その事を伝えるためだけに電話をかけてくるという。「大半の人々は、好奇心から1ガロン分を試し買いすが、その後で実際の作業に必要な大きいサイズのものを買いに戻ってくる。」

沿海の環境関連製品を取り扱う代理店が、昨年ウッドロングエコのことを聞きつけて、彼の顧客にそれを見せたところ「反応はすばらしかった！」とGary Hamilton氏は言っている。さらに「冬中ずっと春の注文を受けるのに大忙しだった」とも。